

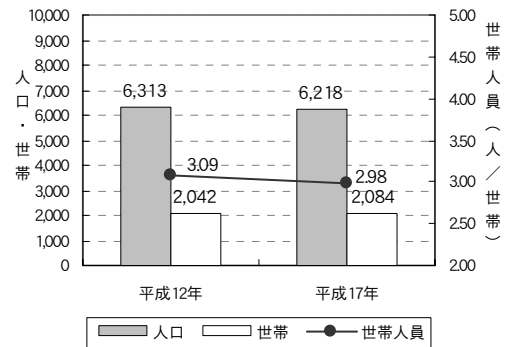
## 5 - 4 野崎地域

### (1) 地域の概要

#### 《位置図》



#### 《人口・世帯数の動向》



#### 1) 人口・世帯数 (国勢調査より)

市全体の7.9%の市民が居住し、世帯数は全体の7.8%を占めています。人口は減少、世帯数はわずかに増加となっています。

世帯数の増加に伴い、世帯人員は減少しています。

#### 2) 土地利用

大田原都市計画区域に指定されており、地域の約4割が用途地域に指定されています。

工業系用途地域内には、既に分譲が完了した野崎工業団地と野崎第二工業団地が整備されており、良好な操業環境が形成されています。また、野崎駅周辺では野崎駅西土地地区画整理事業が進められるなど、計画的な土地利用が図られています。

それ以外の用途地域内では、住宅団地が整備されているものの、未利用地が多く残されており、土地の有効活用が求められています。

用途地域外には、ほ場整備が行われた優良農地が広がっており、良好な田園環境を形成しています。

用途地域内外ともに、幹線道路の沿道地域に集落が形成されています。

#### 3) 交通

本地域には、市内唯一の鉄道駅であるJR東北本線野崎駅があります。

道路網としては、近隣自治体へのアクセス道となる国道4号が地域の中央に整備されており、それに県道滝沢野崎停車場線や県道西那須野下石上線、県道関谷上石上線がネットワークしています。また、市の中心部には国道461号でアクセスすることができるなど、高い交通利便性を有しています。

しかし、2つの工業団地への通勤自動車によって朝夕の交通渋滞が発生しており、深刻な課題となっています。

#### 4) 拠点施設等

JR野崎駅をはじめ、野崎工業団地、野崎第2工業団地といった産業拠点が集中して整備されています。

教育・生活拠点としては、野崎研修センター、小中学校、薄葉住宅団地が整備されており、文化拠点として城鉾舞の鎮守温泉神社があります。

## 5) 日常の生活圏 (平成 19 年度市民意識調査より)

アンケート結果では、日々の買い物によく行く場所が「幹線道路沿いの大型店」33.1%、「市中心部の大型店」16.2%となっています。

半数程度の住民が隣接する大田原地域を生活拠点の場としていますが、「那須塩原市」と回答した住民も 12.7%いることから、他地域と比べて、隣接市的那須塩原市との関係性が強いことがわかります。

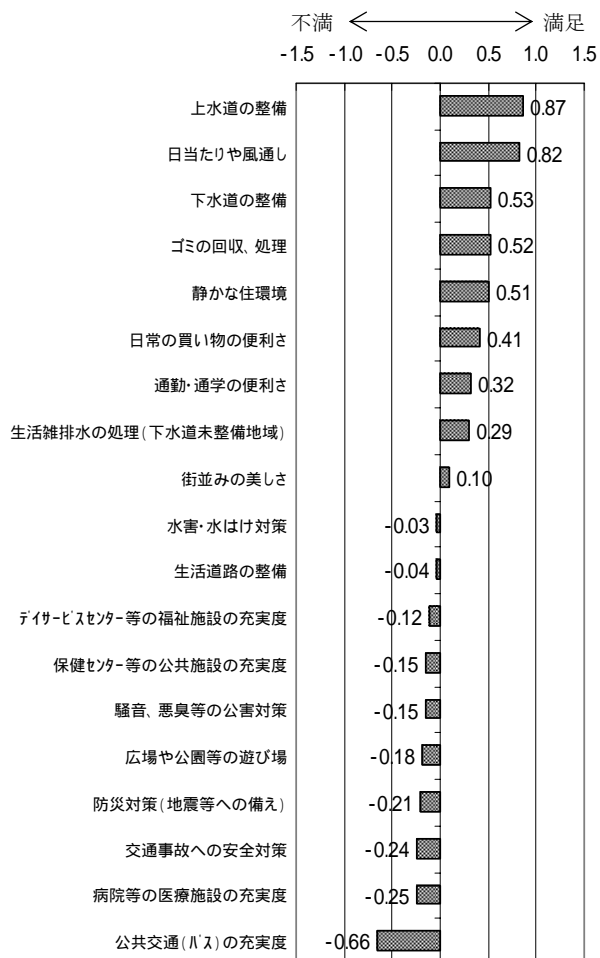
## 6) 各施策の満足度・重要度 (平成 19 年度市民意識調査より)

野崎地域では「上水道の整備」の満足度が最も高く、次いで「日当たりや風通し」「下水道の整備」となっています。反対に最も満足度が低い項目は「公共交通（バス）の充実度」で、次いで「病院等の医療施設の充実度」「交通事故への安全対策」となっています。

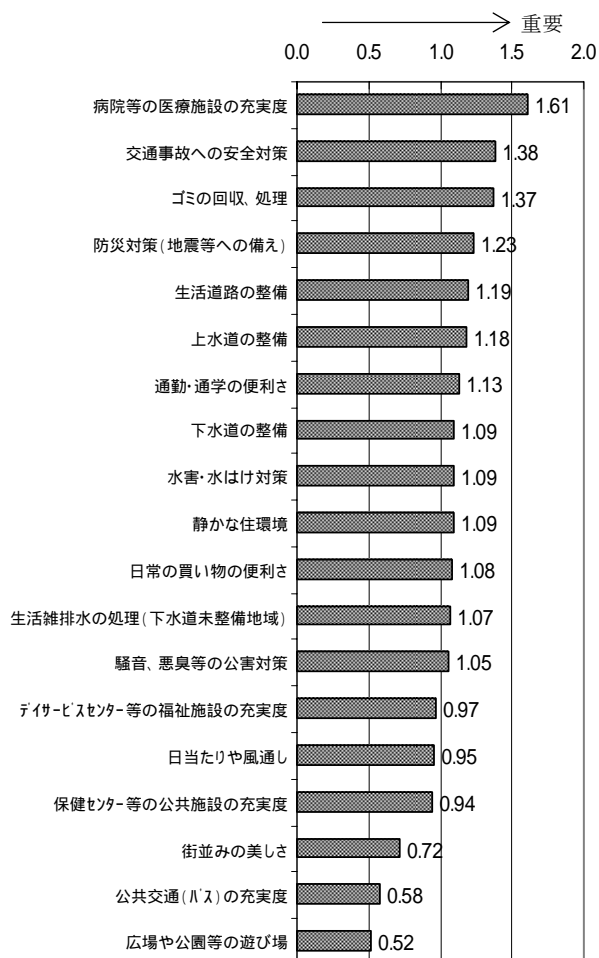
他地域と比べ、満足度が 0 以上の項目が 9 項目と多く、住民から一定の満足感を得ている地域であることがわかります。

重要度が最も高い項目は、満足度の低い「病院等の医療施設の充実度」で、次いで「交通事故への安全対策」「ゴミの回収、処理」となっています。

### 満足度



### 重要度



## 7) 市民意向のポイント (市民意識調査の結果及び地域別説明会の意見を集約)

- 野崎駅の拠点機能の充実
- 子どもが遊べる公園の整備
- 幹線道路の整備・拡充
- 地域内の通過車両に対する安全対策の充実
- 歩道整備など子ども・高齢者が安心して暮らせるまちづくり
- 公共交通の充実
- 平地林・農地などの自然環境との調和
- 市民・事業者・行政の協働によるまちづくり
- 水害等の自然災害に強いまちづくり
- 野崎駅周辺部の商業の活性化
- 箒川を活かした親水空間の整備
- 生活道路の整備

## (2) まちづくりの目標

《将来像》

**産業と住まいが調和した活力あふれるまち 野崎地域**

- ◎ 産業の良好な操業環境と快適な居住環境が調和したまちづくり
- ◎ 高い交通利便性を活かした賑わいのある市街地の形成

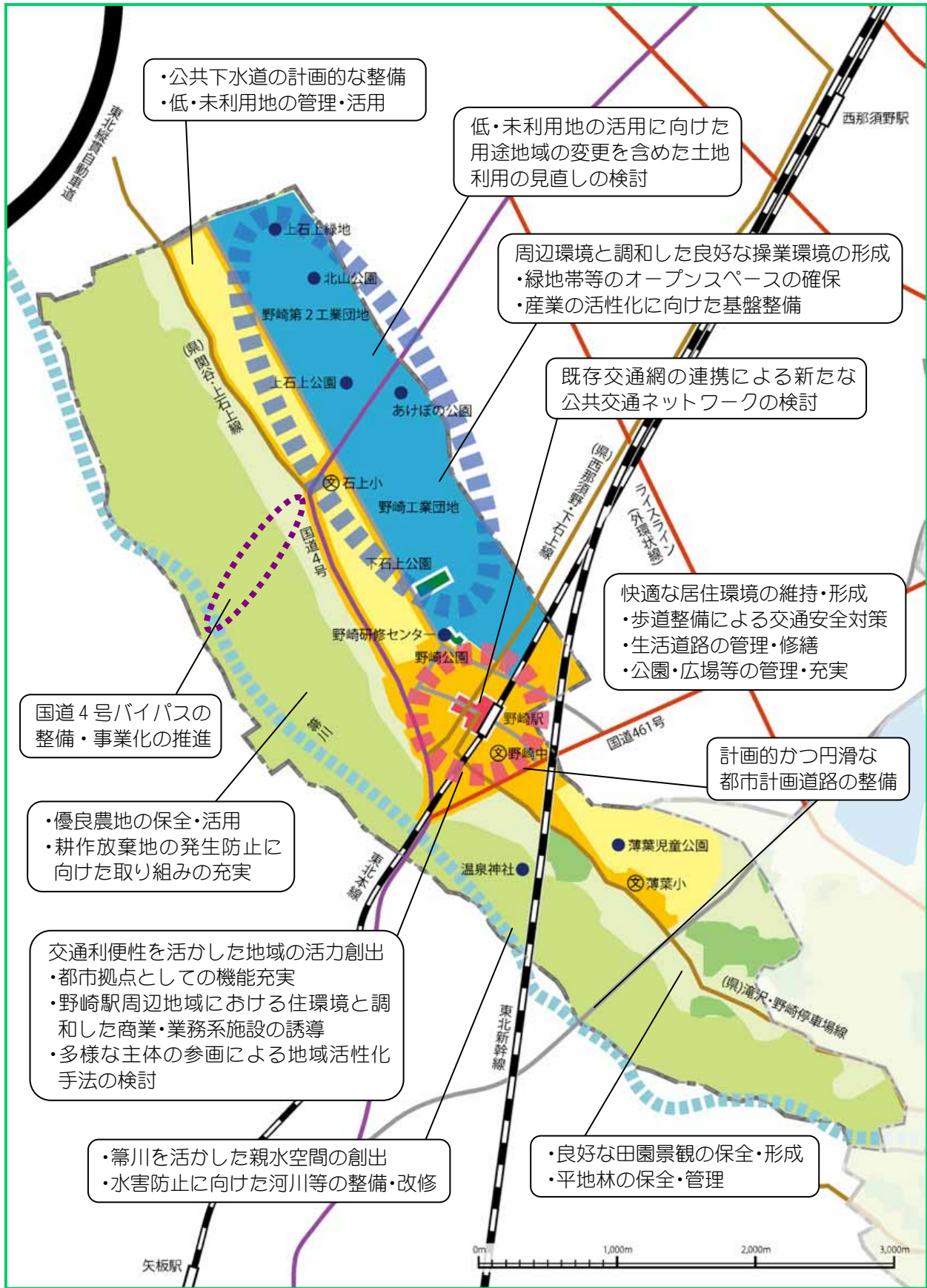
## (3) まちづくりの方針

- ◇ 高い交通利便性を活かした野崎駅周辺部での活力の創出に向けた取り組みの推進
- ◇ 野崎駅周辺地域における住環境と調和した商業・業務系施設の誘導
- ◇ 野崎工業団地及び野崎第二工業団地における緑地帯等のオープンスペースの確保による周辺環境と調和した操業環境の形成
- ◇ 良好な操業環境の整備に向けた産業基盤の整備の推進
- ◇ 低・未利用地が発生している工業専用地域での用途変更を含めた土地利用の見直し検討
- ◇ 無秩序な都市的土地利用の拡大防止と良好な営農環境の保全に向けた特定用途制限地域の指定の検討
- ◇ 公共下水道の計画的な整備及び公共設置型浄化槽整備事業の推進
- ◇ 快適な居住空間の形成に向けた道路・公園などの生活基盤の充実
- ◇ 円滑な交通処理に向けた都市計画道路及び国道4号バイパスの整備・事業化の推進
- ◇ 優良農地の保全・活用及び耕作放棄地の発生防止に向けた取り組みの推進
- ◇ 歩道整備による安全・安心な歩行空間の確保と交通安全対策の充実
- ◇ 水害の防止に向けた河川・水路の整備・改修
- ◇ 箒川を活かした親水空間の整備に向けた取り組みの推進
- ◇ 鉄道・バス・タクシー等の既存交通の連携による公共交通ネットワークの充実
- ◇ 多様な主体の参画・協働によるまちづくり活動の推進



《活性化が求められる野崎駅前》

# 《野崎地域 構想図》



商業業務系市街地ゾーン	農業振興ゾーン	都市拠点	3環状8放射道路
複合系市街地ゾーン	緑地保全ゾーン	地域拠点	広域幹線道路
住居系市街地ゾーン	自然環境保全ゾーン	歴史と文化の拠点	都市幹線道路
工業ゾーン	都市公園	水と緑の拠点	地域幹線道路
新市街地誘導ゾーン	自然環境保全地域等	その他の拠点	高速道路・IC
集落ゾーン	ゴルフ場	河川	鉄道・駅